

授業科目	情報科学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	開講	通年	通年
科目目標	コンピュータの使い方を理解し、レポート作成、プレゼンテーション用資料の作成ができる。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	情報リテラシー	ICT「Information and Communication Technology」における情報を扱う上で重要な良識、およびセキュリティ対策について説明する				講義	非常勤講師				
2	パーソナル	パソコンの仕組みについて説明する				講義					
3	Windowsの基本操作	Windowsを扱う上での基本操作（キーボードの使い方など）について説明し、実際に試してみる				演習					
4	Word(1) : 基本操作	ワードの基本操作を説明し、タイピングの練習を行う				演習					
	Word(2) : ページ設定	文章を作成する前に必要となるページ設定（体裁）を行う				演習					
6	Word(3) : 段組と図の挿入	レジュメ作成の際に使われる段組を行い、図の挿入を行う				演習					
	7	EメールやSNS, クラウドの使い方	ICTのメリット・デメリットを理解した上で、正しい利用の仕方を学ぶ。また、クラウドを利用したデータ共有を行ったオンライン学習 また、クラウドを利用したデータ共有を行う								
8	Excel(1) : 基本操作	エクセルの基本操作を説明し、データを入力する				演習					
	9	Excel(2) : 関数(1)	エクセルで頻出する関数を用いて、計算をする								
10	Excel(3) : 関数(2)	エクセルで最も使われるIF関数を用いて、それらを組み合わせた計算をする				演習					
	11	Power Point(1) : 基本操作	パワーポイントの基本操作を説明し、図や文章を入力する								
12		Power Point(2) : アニメーション	効果的なアニメーションを使って、プレゼン資料を作成する								
	13	Power Point(3) : プレゼン(1)	パワーポイントを用いて、プレゼンテーションを行う(1)								
14		Power Point(4) : プレゼン(2)	パワーポイントを用いて、プレゼンテーションを行う(2)								
	15	定期試験(90分)	筆記および実技による試験を行う								

授業科目	文章表現論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	自分の考え、観察や体験した内容を論理的思考に基づいた文章で表現する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	ガイダンス	授業概要の説明 わかりやすい文章とは？			講義・ グループワーク	非常勤講師			
2	文章作成の基本を理解する1	段落の書き方			講義・ グループワーク				
3	文章作成の基本を理解する2	意見と理由（主張と根拠）の書き方			講義・ グループワーク				
4	文章作成の基本を理解する3	文の書き方			講義・ グループワーク				
5	文章の構造化を考える1	レポートの作成（先行研究を探す）			講義・ グループワーク				
6	文章の構造化を考える2	レポートの作成（目的と構成を考える）			講義・ グループワーク				
7	文章を作成する	文章表現演習（レポート作成）			講義・ グループワーク				
10	体験を言語化する2	文章表現演習・ピアレビュー			講義・ グループワーク				
11	体験を言語化する3	グループ体験（合意形成）			講義・ グループワーク				
12	体験を言語化する4	文章表現演習			講義・ グループワーク				
13	体験を言語化する5	ピアレビュー・論理的とは			講義・ グループワーク				
14	まとめ	文章表現のポイント			講義・ グループワーク				
15	定期試験（90分）	レポート記述							

授業科目	心理学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	心理学の基礎を学び、人間行動を心理学的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	心理学とは	イントロダクション：心理学概説			講義	非常勤講師			
2	知覚の心理学(1)	感覚の仕組み			講義				
3	知覚の心理学(2)	知覚の機能			講義				
4	記憶の心理学(1)	記憶の仕組み			講義				
5	記憶の心理学(2)	記憶の働き			講義				
6	記憶の心理学(3)	記憶の影響			講義				
7	学習の心理学(1)	レスポナント条件づけ			講義				
8	学習の心理学(2)	オペラント条件づけ			講義				
9	学習の心理学(3)	行動の理解と支援			講義				
10	動機づけの心理学(1)	欲求			講義				
11	動機づけの心理学(2)	動機づけ			講義				
12	発達心理学(1)	発達の原理			講義				
13	発達心理学(2)	発達の過程			講義				
14	臨床心理学	心理的支援			講義				
15	総括	まとめ			講義				

授業科目	家族社会学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	集団としての家族とその形態や機能を学び、現代社会の特徴と諸問題を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	家族社会学とは	家族社会学とは、社会学とは			講義	非常勤講師			
2	家族の起源と進化	家族とは（家系図を書こう）			講義				
3	家族に関する基礎的概念 1	集団としての家族			講義				
4	家族に関する基礎的概念 2	制度としての家族①			講義				
5	家族に関する基礎的概念 3	制度としての家族②			講義				
6	家族の機能	家族の機能①			講義				
7		家族の機能②			講義				
8		家族機能の外部化および個人レベル 食卓にみる家族関係の変化			講義				
9									
10	家族の暗部	機能不全家族について ファミリー・バイオレンスの類型			講義				
11	親-成人子関係のゆくえ	離婚における変化			講義				
12					講義				
13		少子高齢化における変化			講義				
14		配偶者選択の変化			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	生命倫理	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	生命倫理学の基礎を習得し、倫理問題に対する適切な判断と対処ができる能力を養う。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	生命倫理学への誘い	Bioethics（生命倫理学）の定義。その成立の歴史的背景。従来の医の倫理とBioethicsとの相違。インフォームド・コンセントの歴史。			講義	非常勤講師			
2	インフォームド・コンセント	パターナリズム。インフォームド・コンセントの意義と実践上の問題。インフォームド・アセント。インフォームド・リフューザル。シェアード・ディシジョン・メイキング。			講義				
3	西洋の人間観と人格の定義	現代のパーソン論が継承している西洋思想における「人格」の概念について歴史的に振り返った後、現代のパーソン論における論点を紹介する。			講義				
4	パーソン論								
5	倫理学の基礎理論	応用倫理学としての生命倫理を学ぶに際して、その基礎となる伝統的な倫理学のうち、代表的な功利主義と義務論の概略を知ってもらう。			講義				
6	生殖補助医療	生殖補助医療の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
7									
8	出生前診断・着床前診断	出生前診断の国内外における現状とその倫理的問題点 着床前診断についても考察する			講義				
9	移植医療	臓器移植の国内外における現状とその倫理的問題点			講義				
10	生命の神聖さと生命の質	生命の神聖さ（SOL）・生命の質（QOL）という考え方との関連で、治療行為の中止、安楽死、尊厳死について国内外の現状もふまえながら考察する			講義				
11	安楽死・尊厳死								
12	生命倫理の基本原則	上記11回までの内容を振り返りながら、生命倫理の基本原則を整理する			講義				
13	患者の自己決定と社会的決定	患者の自己決定とその許容範囲、社会としての決定と法整備について。医療資源の配分について。			講義				
14	生命倫理と家族	患者の家族は、生命倫理のなかでどのように位置づけられるか			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	人間関係論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	対人関係における社会心理学的なプロセスを学び、対人社会行動について理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	対人関係の心理	イントロダクション：対人社会心理学			講義	非常勤講師			
2	対人認知(1)	印象形成			講義				
3	対人認知(2)	対人認知の偏り			講義				
4	対人認知(3)	対人認知の歪み			講義				
5	対人認知(4)	対人魅力			講義				
6	親密化(1)	親密化の過程			講義				
7	親密化(2)	コミュニケーション・チャネル			講義				
8	親密化(3)	社会的スキル			講義				
9	自己過程(1)	自己概念と社会的影響			講義				
10	自己過程(2)	自己評価と他者との関わり			講義				
11	自己過程(3)	自尊心の維持と動機づけ			講義				
12	集団過程(1)	社会的影響			講義				
13	集団過程(2)	集団の影響			講義				
14	集団過程(3)	社会的勢力・集団間関係			講義				
15	総括	まとめ			講義				

授業科目	ボディワーク	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	身体的存在である自己・他者への感受性をみがく。そのことにより、自分の身体や他者の身体が発するメッセージに気づき、働きかける力をつける。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	オリエンテーション	からだに出会う コミュニケーション実習				体験学習 講義	非常勤講師		
2	学び方を学ぶ	体験学習の循環過程 B&F Diary導入				講義			
3	私達の認識の基礎	「ものを知る」実習				体験学習			
4	自分の偏りを知る	偏りを知り、豊かな認識の手がかりを掴む				講義			
5	身体言語とかかわり	非言語コミュニケーション実習				体験学習			
6	自己成長のキーワードと他者理解	「心の四つの窓」導入 自己開示				体験学習 講義			
7	ふれる	「ふれる」実習				体験学習 講義			
8	学びの振り返り	学びのデータの整理と分かち合い				講義			

授業科目	保健体育	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	看護職員（看護専門職）として生涯働いていくには、健康と体力の保持増進のために適度な運動が必要である。また、スポーツを通して身体の動かし方やコミュニケーションを図るために設定する。主に健康づくりやセルフケアにつながる運動について学ぶ。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	オリエンテーション	からだ対話する（現状把握）				講義・実習	非常勤講師		
2	セルフケアとしての運動	呼吸・ヨガ・指ヨガⅠ				実技			
3	セルフケアとしての運動	呼吸・ヨガ・指ヨガⅡ				実技			
4	健康づくりの運動	有酸素運動・トレーニングの基礎知識				講義・実習			
5	健康づくりの運動	有酸素運動・トレーニングの実践				実技			
6	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など				実技			
7	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など				実技			
8	スポーツ・運動を通じた健康づくり	ソフトバレー・バドミントン・卓球など				実技			

授業科目	接遇マナー論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	社会人としての正しい対応を身につける。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	授業ガイダンス	授業の心構え 挨拶と自己紹介 第一印象				講義	非常勤講師		
2	立ち居振る舞い（1）	敬語 正しい姿勢・お辞儀・尊敬語と謙譲語				講義 実技			
3	立ち居振る舞い（2）	敬語 正しい姿勢・お辞儀・尊敬語と謙譲語 歩き方・物の受け渡し				講義 実技			
4	聴き方・話し方のマナー	一般常識・名刺交換・感じの良い言葉遣い・ 報告連絡相談のマナー				講義 実技			
5	コミュニケーション実践	聴き方と話し方・分かりやすく伝える方法				講義 実技			
6	電話対応の実践	プラスαの思いやりの声かけ・仲間同士のマナー・接し方 コミュニケーションの実践練習				講義 実技			
7	来客対応の仕方・ 訪問の仕方	席次・お茶出し・案内の仕方の基本				講義 実技			
8	定期試験（60分）								

授業科目	文化人類学	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	<p>現代社会の諸問題に対してどれだけ迫ることができるか、また、どのような実践的な課題を見いだせるかという点から、議論したいと考えています。そこから、講義で扱うテーマを含む様々な社会の問題に対する情報を受け止める力、理解する力を獲得することが到達目標です。</p> <p>特に重視したいのが、看護師の仕事にとって、文化を考えていくことがどのように役立つかです。近年、話題となっているメディア、生命、少子化、環境、多文化共生などのテーマについて1つ1つ丁寧に考えていきたいと思います。</p>								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	文化概念	文化人類学に何ができるか			講義	非常勤講師			
2	コミュニケーション理論	コミュニケーションの文化			講義				
3	消費文化論	消費と文化			講義				
4	メディア文化論	メディアと文化			講義				
5	環境文化	環境の文化と生命			講義				
6	家族と文化	家族・人間関係の文化をめぐる問題			講義				
7	行動アプローチ	人びとの行動を変える文化的実践			講義				
8	身体・生命の文化	身体・生命の文化を考える			講義				
9	地域文化	地域の文化的多様性			講義				
10	文化人類学方法論	文化人類学のフィールドワーク			講義				
11	多文化社会論	日本で暮らす外国人について			講義				
12	共生論	外国人との共生を考える			講義				
13	コミュニティと地域文化	「多文化共生」：地域での実践から			講義				
14	文化人類学理論	現代社会と文化の問題：文化人類学の可能性			講義				
15	まとめ・テスト								

授業科目	カウンセリング理論	分野	基礎分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	看護場面において、心の援助を行うために必要なカウンセリング理論や技法などを理解し、看護現場で活かせるようにする。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	カウンセリングとは	カウンセリングの理論と看護カウンセリングについて				講義 グループワーク	非常勤講師		
2	カウンセリングの基本姿勢	カウンセリングの基本的態度				講義 グループワーク			
3	カウンセリングの技法①	言語的援助の技法				講義 グループワーク			
4	カウンセリングの技法②	言語的援助の技法				講義 グループワーク			
5	カウンセリングの技法③	非言語的援助の技法				講義 グループワーク			
6	カウンセリング的姿勢	ロールプレイ等を通してカウンセリング的姿勢を学ぶ				講義 グループワーク			
7	心理査定	よく使われる心理検査について				講義 グループワーク			
8	心理療法①	認知行動療法・クライエント中心療法				講義 グループワーク			
9	心理療法②	フォーカシング・箱庭療法・遊戯療法				講義 グループワーク			
10	看護カウンセリングの実際	事例から学ぶ				講義 グループワーク			
11	自己理解と他者理解	交流分析など				講義 グループワーク			
12	自己理解と他者理解	コラージュなど				講義 グループワーク			
13	自己理解と他者理解	風景構成法など				講義 グループワーク			
14	これからのカウンセリング	カウンセリングを看護現場でどう活かすか				講義 グループワーク			
15	まとめ（30分） 定期試験（60分）	カウンセリングのまとめ 定期試験				講義 定期試験			

授業科目	解剖学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	人体の構造のなりたち	解剖学用語、人体の外形と部位からだの方向用語、体部の名称				講義	非常勤講師		
2	細胞と組織 1	上皮組織、支持組織（結合、軟骨、骨組織）、腺の構造と分泌様式				講義			
3	細胞と組織 2	筋組織、神経組織、細胞の構造と細胞小器官のはたらき				講義			
4	骨系統総論	骨のミクロ構造、発生と成長、関節の構造と種類、リモデリング				講義			
5	骨系統各論 1	脊柱を構成する骨と連結、胸郭を構成する骨、頭蓋骨				講義			
6	骨系統各論 2	上肢と下肢の骨格、骨盤の性差、足のアーチ構造				講義			
7	筋系統総論	筋組織構造、筋の形態、腱と筋膜、筋の付属器、筋の起始と停止				講義			
8	筋系統各論 1	作用、拮抗筋と協力筋、神経支配、運動単位				講義			
9	筋系統各論 2	頭頸部、背部、胸部、腹部の筋、上肢、下肢の筋				講義			
10	消化器系統 1	口腔、歯、口蓋、舌、唾液腺、扁桃、咽頭				講義			
11	消化器系統 2	食道、胃、小腸（十二指腸、空腸、回腸）、大腸（盲腸、結腸、直腸）				講義			
12	消化器系統 3	肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜、胃間膜 腹部断面、縦断像				講義			
13	循環器系統 1	動脈系、静脈系、リンパ管系、リンパ性器官、リンパ節				講義			
14	循環器系統 2	心臓の構造、特殊な血管系、体循環と肺循環、全身の血管				講義			
15	定期試験（90分）								

授業科目	解剖学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体が各組織・器官系統より、どのように構成されているか。また、正常な構造を形態的に理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	呼吸器系統 1	外鼻、鼻腔（副鼻腔、鼻粘膜と嗅器）、腺、漿膜			講義	非常勤講師			
2	呼吸器系統 2	咽頭、喉頭、気管と気管支、肺、胸膜、縦隔			講義				
3	内分泌系統	甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、消化器、生殖、その他のホルモン			講義				
4	泌尿器系統	腎臓、尿管、膀胱、尿道、排尿にかかわる筋と神経			講義				
5	生殖器系統：男性	精巣と精巣上体、精管と精索、陰茎、付属生殖腺、精子			講義				
6	生殖器系統：女性	卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、乳腺、胎盤、臍帯			講義				
7	発生	受精と着床、胚子と胎児、胚葉と組織			講義				
8	神経系統総論	シナプス、神経伝達物質、変性と再生、自律神経系			講義				
9	中枢神経系	中脳、橋、延髄、間脳（視床、視床下部）大脳皮質、基底核、辺縁系			講義				
10	中枢神経系	髄膜、脳室と髄液、脳の動静脈、求心性伝導路、遠心性伝導路			講義				
11	中枢神経系	小脳、脊髄の構造、脳神経			講義				
12	感覚器系統 1	視覚器；角膜、強膜、脈絡膜、毛様体、虹彩、網膜、水晶体、レンズ			講義				
13	感覚器系統 2	聴覚器と平衡覚器、蝸牛、卵形嚢と球形嚢、三半規管、嗅覚器と味覚器			講義				
14	皮膚	表皮、真皮、皮下組織、爪、毛、腺、熱傷、9の法則、感覚器			講義				
15	定期試験（90分）				講義				

授業科目	生理学 I	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	細胞の機能	エネルギーの変換とATP, 核酸からタンパク質の合成、細胞膜の機能			講義	非常勤講師			
2	細胞の機能と消化	体液とホメオスタシス、口腔、食道、胃、膵液、胆汁、腸液の働き			講義				
3	消化と吸収	消化管の自律神経支配、小腸の運動、小腸の吸収、大腸、肝臓			講義				
4	呼吸	内呼吸と外呼吸、呼吸運動、肺胞の機能、肺気量			講義				
5	呼吸	一秒率と%肺活量、ガス交換とガスの運搬			講義				
6	呼吸	呼吸中枢、呼吸の調節、呼吸の調節異常、異常呼吸			講義				
7	血液	血液の働き、血液成分、血球の種類、赤血球の機能			講義				
8	血液	白血球の機能、非特異的生体防御機構と特異的生体防御機構（免疫）			講義				
9	血液	血漿タンパク質、血液の凝固と線溶、HLAとは、血小板の機能			講義				
10	血液	ABO式とRh式血液型、輸血			講義				
11	心臓	体循環と肺循環、心筋、刺激伝導系、心電図波形の意味			講義				
12	心臓	心電図の記録と計測、心拍数と電気軸の求め方			講義と測定				
13	心臓	異常心電図波形、血圧測定、心周期、心拍出量			講義と測定				
14	心臓	心内圧と心音、心臓反射、血管の調節			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	生理学Ⅱ	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	人体の生理機能を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	腎臓	濾過と再吸収、浮腫、腎臓の機能、腎小体と糸球体			講義	非常勤講師			
2	腎臓	尿細管の機能、腎機能検査、排尿、尿			講義				
3	体液の調節	脱水と電解質、PHと酸塩基平衡障害			講義				
4	自律神経	自律神経の機能、自律神経の伝達物質			講義				
5	内分泌	内分泌腺とホルモン、ホルモンの構造と作用			講義				
6	内分泌	ホルモン調節、視床下部ホルモンの作用、下垂体前葉ホルモン			講義				
7	内分泌	甲状腺、上皮小体、睪臓、副腎ホルモンの作用と疾患、			講義				
8	内分泌と生殖	性ホルモン、性の決定と分化、性周期と妊娠			講義				
9	骨格筋と神経	骨格筋の筋収縮機構、筋収縮の種類、ニューロン、神経の興奮と伝導、シナプス、脊髄反射			講義				
10	神経	脳幹の機能、間脳の機能、大脳の機能、脳神経の働き			講義				
11	神経	脳波睡眠と脳波、脳死と植物状態、脊髄伝導路			講義				
12	感覚	体性感覚、視細胞、視覚の伝導経路、色覚とその異常			講義				
13	感覚	聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚			講義				
14	疼痛と体温	疼痛、体温、老化現象			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	生化学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	<p>人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝を理解する。【私達の身体は数多くの物質から成り立っており、それらがひとつとして無駄もなく代謝（合成と分解）を繰り返して生命活動を維持している。さまざまな疾患はその代謝活動に何らかの支障をきたした結果、引き起こされるものであり、その前提となる正常な代謝を理解する必要がある。この講義は、人体における代謝を化学的、栄養学的視点から捉え、各種疾患の診断、治療に欠かせない基礎医学の知識を習得させることを目標にする。】</p>								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	生体の仕組みと生体内代謝の概要	細胞の基本構造、核およびミトコンドリアをはじめとする細胞内小器官の役割			講義	非常勤講師			
2	糖質の種類	糖質の分類および役割			講義				
3	糖質代謝	糖質の消化吸収、細胞内における糖質代謝経路（解糖系、クエン酸回路と電子伝達系、糖新生）			講義				
4	脂質の種類	脂質の種類、構造および役割			講義				
5	脂質代謝	リポタンパク質の役割、中性脂肪の消化吸収、脂肪酸分解反応（ $\beta$ -酸化）、脂肪酸合成反応			講義				
6	アミノ酸の種類 タンパク質の構造	アミノ酸の構造と分類、両性電解質の特性、タンパク質の基本構造（一次～四次構造）			講義				
7	タンパク質、 アミノ酸代謝	タンパク質の性質および役割、タンパク質の消化吸収、アミノ酸代謝			講義				
8	前半のまとめ	三大栄養素の代謝について			講義				
9	酵素総論	酵素の働きや特性、酵素と補酵素及び補因子の関係、酵素アインザイム			講義				
10	酵素各論	各種酵素の臨床的意義			講義				
11	ビタミン	各種ビタミンの分類と役割、各種ビタミン欠乏症			講義				
12	核酸	核酸の構造と役割、遺伝情報からのタンパク質の合成、核酸代謝			講義				
13	無機質	体内における無機質の役割、酸塩基平衡			講義				
14	ホルモン	各種ホルモンの構造、分泌部位、主な作用 各種ホルモンの分泌不全と過剰症			講義				
15	定期試験（90分）	まとめ			試験				

授業科目	生活行動と形態機能	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	人間が生きていくための生活行動のメカニズムが理解できる。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	生活行動とは	なぜ人体を生活行動からみるのか				講義	本校教員		
2	生活するための 身体のしくみ	動くための身体のしくみ				講義 演習			
3									
4		眠る・休息するための身体のしくみ				講義 演習	本校教員		
5		コミュニケーションをとるための身体のしくみ							
6		食べるための身体のしくみ							
7									
8		トイレに行くための身体のしくみ							
9									
10		きれいになるための身体のしくみ					本校教員		
11		恒常性を維持するための身体のしくみ				講義	本校教員		
12					講義 演習				
13	物質の流通のための身体のしくみ 息をするための身体のしくみ								
14									
15	子どもを産むための身体のしくみ	男性と女性 性交と受精 出産				講義	本校教員		

授業科目	微生物学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	微生物の特徴、生体に及ぼす影響とその対応を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	細菌の性質1	細菌の形態と特徴				講義	非常勤講師		
2	細菌の性質2	細菌の遺伝、分類、常在細菌叢				講義			
3	真菌、寄生虫、ウイルスの性質	真菌、寄生虫、ウイルスの形態と特徴				講義			
4	感染に関する生体防御機構1	自然免疫				講義			
5	感染に関する生体防御機構2	獲得免疫				講義			
6	感染と感染症	感染の成立から発症・治癒まで、感染症の現状と問題点、感染症対策				講義			
7	感染症の予防	滅菌と消毒、標準予防策				講義			
8	感染症の治療	化学療法の基礎、各種化学療法薬				講義			
9	細菌感染症1	グラム陽性菌				講義			
10	細菌感染症2	グラム陰性菌				講義			
11	細菌感染症3	抗酸菌、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ				講義			
12	真菌感染症	カンジダ属、アスペルギルス属、クリプトコッカス属				講義			
13	ウイルス感染症1	呼吸器感染症、消化器感染症、性感染症、日和見感染症の原因ウイルス				講義			
14	ウイルス感染症2	急性発疹性または発熱性感染の原因ウイルス、肝炎ウイルス、血液を介して感染するウイルス				講義			
15	定期試験（90分）	定期試験				試験			

授業科目	病因論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	病気の本能である病変の形態的、機能的特徴を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	病理学とは	看護と病理学、病気の原因、病気の分類について			講義	非常勤講師			
2	細胞・組織の障害と修復①	細胞の損傷と適応について			講義				
3	細胞・組織の障害と修復②	組織の修復と創傷治癒について			講義				
4	循環障害①	循環系の概要、充血、うっ血、出血について			講義				
5	循環障害②	血栓症、塞栓症、虚血、梗塞、ショックについて			講義				
6	炎症と免疫	炎症とそん分類、アレルギーと自己免疫疾患について			講義				
7	移植と再生医療	移植と再生医療について			講義				
8	感染症	感染と宿主の防御機構、主な病原体と感染症について			講義				
9	代謝障害	脂質、蛋白質、その他の代謝障害、糖尿病について			講義				
10	老化と死	個体の老化、加齢に伴う臓器の変化、脳死について			講義				
11	先天異常と遺伝子異常	先天異常と遺伝子の異常、遺伝子の治療について			講義				
12	腫瘍①	腫瘍の定義と分類			講義				
13	腫瘍②	悪性腫瘍の広がりや影響			講義				
14	腫瘍③	腫瘍の発生病理と腫瘍の診断と治療について			講義				
15	定期試験				定期試験と講義				

授業科目	内科系 疾病治療論	分野	専門基礎	単位数	1 単位	時間数	30時間	開講	後期
科目目標	内科的治療の適応となる呼吸器、消化器、循環器、血液・造血器疾患の病態と診断・治療を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	①呼吸器系疾患	呼吸不全			講義	非常勤講師			
2		呼吸器系の感性症			講義				
3		結核、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍			講義				
4	②消化器系疾患	症状とその病態生理 検査と治療			講義	非常勤講師			
5		上部消化管の疾患 下部消化管の疾患			講義				
6		胆道・膵臓疾患			講義				
7		肝臓疾患			講義				
8		消化器全体についてのまとめ			講義				
9	③循環器系疾患	循環器疾患 総論			講義	非常勤講師			
10		虚血性心疾患			講義				
11		不整脈			講義				
12		心不全			講義				
13	④血液・造血器疾患	血液の生理と造血のしくみ 検査・診断と症候・病態生理			講義	非常勤講師			
14		疾患と治療 赤血球系・白血球系の異常			講義				
15		造血器腫瘍 出血性疾患			講義				
16	定期試験（90分）					非常勤講師			

授業科目	外科系 疾病治療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	外科的治療の適応となる呼吸器、消化器、循環器、泌尿器疾患の病態と診断・治療を理解する。 麻酔の種類と体への影響を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	①麻酔	麻酔とは 術前・術中・術後管理			講義	非常勤講師			
2		全身麻酔 局所麻酔			講義				
3	②呼吸器系疾患	肺がんの症状と診断			講義	非常勤講師			
4		肺がんの治療と予後 外科療法			講義				
5		肺良性腫瘍 胸部外傷			講義				
6	③消化器系疾患	胃がん			講義	非常勤講師			
7		大腸がん			講義				
8		肝臓・胆のう・膵臓の疾患			講義				
9		食道の疾患 緊急手術 イレウス			講義				
10	④循環器系疾患	虚血性心疾患			講義	非常勤講師			
11		弁膜症			講義				
12		動脈の閉塞および血流障害 動脈瘤			講義				
13	⑤泌尿器疾患	尿路の通過障害と機能障害 尿路結石症 腎盂および尿管がん			講義	非常勤講師			
14		尿路・性器の腫瘍			講義				
15		男性生殖器の疾患			講義				
16	定期試験（90分）					非常勤講師			

授業科目	内分泌代謝・ 女性生殖器系 疾病治療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	内分泌、栄養・代謝、血管、腎、女性生殖器疾患の病態と診断・治療を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	①栄養・代謝疾患	糖尿病－概念と病態生理				講義	非常勤講師		
2		糖尿病－治療 1				講義			
3		糖尿病－治療 2				講義			
4		糖尿病－合併症				講義			
5		脂質異常症、高尿酸血症、 メタボリック症候群				講義			
6	②血管疾患	静脈の血流障害				講義	非常勤講師		
7	③腎疾患	腎不全について CKDの定義・重症度分類 診断と治療 透析療法（腹膜、血液） 生体腎移植と献腎移植				講義	非常勤講師		
8									
9									
10									
11	④女性生殖器疾患	女性生殖器の構造・機能				講義	非常勤講師		
12		診断・検査と治療・処置				講義			
13		臓器別疾患、機能的疾患				講義			
14	⑤甲状腺・乳腺疾患	乳腺疾患の診断、検査、治療				講義	非常勤講師		
15		甲状腺・副甲状腺（上皮小体）の疾患				講義			
16	定期試験（90分）						非常勤講師		

授業科目	運動器・脳神経系 疾病治療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	運動器・脳神経系疾患の病態と診断・治療を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	①運動器系疾患	運動器の構造と機能症状とその病態生理				講義	非常勤講師		
2		診断・検査と治療・処置 骨折総論				講義			
3		骨折、脱臼、神経の損傷 筋・腱・靭帯などの損傷				講義			
4		先天性疾患、炎症性疾患 骨腫瘍および軟部腫瘍				講義			
5		代謝性骨疾患、筋および腱の疾患 神経筋接合部の疾患 上肢および下肢帯の疾患 脊椎の疾患				講義			
6		骨粗鬆症 骨折 関節リウマチ 脊髄損傷				講義			
7									
8	②脳・神経系疾患	神経内科とは 検査・診断と治療・処置				講義	非常勤講師		
9		末梢神経障害 脳・神経の変性疾患 脳・神経の感染症				講義			
10	③脳・神経系疾患	脳神経の構造と機能				講義	非常勤講師		
11		脳血管障害 (脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)				講義			
12		脳腫瘍、頭部外傷				講義			
13	③リハビリテーション	リハビリテーション概論 リハビリテーション看護概論				講義	非常勤講師		
14		運動器系の障害とリハビリテーション							
15									
16	定期試験（90分）						非常勤講師		

授業科目	薬理学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	治療に使用される代表的な薬物の作用機序、特徴、副作用、薬物の取扱いや管理について理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	薬理学総論	体内動態、服用時間、投与方法、相互作用				講義	非常勤講師		
2	抗感染症薬	抗生物質 抗ウイルス薬				講義			
3	抗がん薬	合成化学療法薬、抗がん剤				講義			
4	抗アレルギー薬	抗ヒスタミン薬、痛風治療薬				講義			
5	抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬 末梢での神経活動に作用する薬物				講義			
6	中枢神経に作用する薬物①	催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、 抗うつ薬、パーキンソン病治療薬、 抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬				講義			
7	中枢神経に作用する薬物②					講義			
8	末梢神経に作用する薬物	体性神経作用薬、自律神経作用薬				講義			
9	心臓・血管系に作用する薬物①	心不全、狭心症、高血圧の治療薬				講義			
10	心臓・血管系に作用する薬物②					講義			
11	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	気管支喘息治療薬、消化性潰瘍治療薬				講義			
12	物質代謝に作用する薬物	糖尿病治療薬 副腎皮質ホルモン				講義			
13	生物学的製剤	ワクチン 免疫関連薬				講義			
14	薬理学のまとめ	復習 実践問題				講義			
15	定期試験（90分）								

授業科目	臨床栄養学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	健康障害と栄養療法について、疾患系統別の食事療法の実際及び栄養管理について理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	臨床栄養学の基礎知識	栄養とは 栄養素のアセスメント				講義	非常勤講師		
2	栄養と栄養素	栄養と栄養素 栄養素の分類 五大栄養素と三大栄養素				講義			
3									
4	食品成分と 食事摂取量	食事摂取基準				講義			
5		栄養アセスメント 身体計測							
6		食品成分とエネルギー エネルギー消費量							
7		ライフステージ別の食事							
8		栄養成分別のコントロール食							
9	疾患別の食事(1)	消化器疾患の食事 内分泌・代謝疾患の食事 循環器疾患の食事 腎疾患の食事				講義			
10									
11	腎臓病食をつくる	低たんぱく質食				調理実習			
12	介護食をつくる	高齢者のソフト食				調理実習			
13	疾患別の食事(2)	消化器系疾患の食事療法 内分泌・代謝疾患の食事療法 循環器系疾患の食事療法 腎疾患の食事療法				グループワーク			
14						グループワーク 発表			
15	定期試験（90分）								

授業科目	公衆衛生学	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	集団の健康の保持、増進、疾病予防のために必要な保健活動を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	健康と公衆衛生	公衆衛生の概念 予防医学の考え方				講義	非常勤講師		
2	疫学的方法に基づく公衆衛生	疫学調査の手法・スクリーニング 有病率、罹患率				講義			
3	健康に関連した指標	国勢調査 人口静態と人口動態 出生 死亡と死因 平均余命、平均寿命、健康寿命 受療状況				講義			
4	生活環境の保全	地球環境問題 ごみ・廃棄物 住環境				講義			
5	生活者の健康増進	生活習慣の予防 職場の健康管理				講義			
6	感染症と対策	感染症の基本 主な感染症と動向 食品および家庭用品				講義			
7	保健活動の基盤となる法や施策	地域保健 学校保健 医療の制度				講義			
8	定期試験（60分）								

授業科目	保健医療論	分野	専門基礎	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	現代の保健・医療の現状を知り、医療専門職として社会に対する責任を学ぶ。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	病と癒し	健康の定義 癒しの行為	病の体験			講義	非常勤講師		
2	医療の歩み	わが国の医療の歩み 医療観の移り変り これからの医療と医療観				講義			
3	私たちの生活と健康	救急医療 少子高齢化社会 こころの健康と精神医療	診療所と病院の役割			講義			
4	現代医療の最前線	がん診療の最前線 再生医療	移植医療 画像診断装置の進歩			講義			
5	現代医療の課題	薬の副作用と手術偶発症 倫理上のジレンマ インフォームドコンセント 医療情報の開示	医原病 生命倫理学と臨床倫理学			講義			
6	医療を見つめ直す新しい視点	患者の安全 これからの先端医療開発 情報化社会と医療	医療の管理と評価			講義			
7	保健医療福祉の潮流	地域包括医療システムの展開 専門診療科と総合診療部 保健・医療の国際化				講義			
8	定期試験（60分）								

授業科目	看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	看護の概念、看護の機能と役割を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	私の考える看護	自分の考える看護の概念の明確化				講義	本校教員		
2	看護の本質	看護の定義 役割と機能 職業・学問としての看護 看護の変遷				講義 グループワーク			
3									
4	看護職の資格と養成にかかわる制度	保健師助産師看護師法 看護基礎教育と養成制度				講義			
5	看護の対象	人間とはどのような存在か 事例から人間の「こころ」と 「からだ」について考える こころの理解に役立つ理論				講義 グループワーク			
6									
7	環境と人間	環境の変化とホメオスタシス 環境の変化とコーピング				講義 グループワーク			
8	健康と生活	健康のとらえ方 健康でない状態と障害 国民のライフサイクルから 健康と生活を考える				講義 グループワーク			
9									
10	人間の生活	「生活」とは 「生活」の4つの側面 「生活」を支えるもの				講義 演習 グループワーク			
11									
12	看護における倫理	患者の権利と擁護 看護者の倫理綱領				講義 グループワーク			
13	看護であること、 看護でないこと	フロレンス・ナイチンゲール 「看護覚え書」から学ぶ				講義			
14	看護とはなにかに ついて考える	「私の考える看護」を表現する				演習			
15	定期試験(90分)								

授業科目	フィジカルアセスメント技術Ⅰ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	開講	通年	通年
科目目標	呼吸、循環、体温の測定技術を習得し、呼吸器系・循環器系のアセスメント方法を学ぶ。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	フィジカルアセスメント総論 1)	フィジカルイグザミネーションとは フィジカルアセスメントとヘルスアセスメント フィジカルアセスメントの目的 目的に応じた情報収集 クリティカルシンキング				講義	本校教員				
2	フィジカルアセスメント総論 2)	フィジカルアセスメントの基本とその流れ バイタルサインとは 問診とは 触診と手技 打診とその手技 聴診とその手技 聴診器の構造と使用方法				講義・演習					
3		フィジカルアセスメント技術体験 1) シミュレーターでの実施体験 ・聴診器の使用の実際 ・呼吸音・心音聴診体験				講義・演習 シミュレーター					
10	体温の測定	体温とは① 体温の測定部位と特徴 体温の測定方法とポイント				講義 校内実習					
4	呼吸の測定	呼吸とは② 呼吸数の測定方法とポイント 呼吸音の聴取部位（体表解剖（肺））を捉える				講義・演習					
5		呼吸とは② 1) 人体で呼吸音聴取を体験 ・正しく聴診器を使用し呼吸音の聴取体験する 呼吸音の測定方法とポイント				講義・演習					
6						講義・演習					
7	循環系の測定	脈拍とは③ 呼吸数の測定方法とポイント				校内実習 シミュレーター					
8		血圧とは④ 血圧測定の方法（触診法と聴診法） 触診法の実際				講義・演習					
9		血圧測定の方法（聴診法）				講義・演習					
11	バイタルサイン測定	血圧測定の方法（聴診法と聴診法） バイタルサイン測定の一連の流れ				講義・演習					
12		バイタルサイン測定 一連				校内実習					
13						校内実習					
14	実技試験	体温・脈拍・呼吸・血圧測定、講義全体のまとめ									
15	定期試験(90分)					筆記試験					

授業科目	安楽援助技術	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	前期		
科目目標	療養環境を整え安楽に過ごすための基本技術を習得する。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	安楽な姿勢と体位の保持	1) 安楽とは ①ボディメカニクスとは				講義 グループワーク	本校教員				
2		2) よい姿勢とは ①体位 ②体位保持（ポジショニング）									
3	環境調整技術	1) 療養生活の環境 ①療養環境とは 2) 病室の環境のアセスメントと調整 3) ベッド周囲の環境整備 ①ベッドメイキング				講義 グループワーク 校内実習					
4											
5											
6											
7	移動の援助	1) 体位変換 ①援助の基礎知識、実際				講義 校内実習					
8		2) 歩行 3) 移動・移送、車椅子、ストレッチャー ①援助の基礎知識、実際 4) ベッドから車椅子への移動 ①援助の基礎知識、実際									
9	睡眠・休息の援助	睡眠の種類 睡眠障害のアセスメント				講義 グループワーク					
10		睡眠・休息の援助									
11	コミュニケーション技術	コミュニケーションの意義と目的 コミュニケーションの構成要素と 成立過程 関係構築のためのコミュニケーションの基本				講義 演習					
12											
13											
14	実技試験	ベッドメイキング				本校教員					
15	定期試験(90分)					本校教員					

授業科目	内部環境調整技術 I	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	食と排泄機能を整え身体的、心理的に良好な状態に整えるための基本技術を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	おいしく食べるとは	1) 生理的意義 2) 社会的意義 3) 心理的意義			講義	本校教員			
2	おいしく食べるためのアセスメント	1) 栄養状態 2) 水分・電解質バランス 3) 食欲 4) 摂食・嚥下能力 5) 食事行動 6) 患者の認識			講義 演習				
3	おいしく食べるための援助	1) 咀嚼の体験 2) 嚥下の体験 3) 臨床患者の食事介助			講義 校内実習				
4									
5	経管栄養の援助	1) 経管栄養 2) 経鼻胃管と胃瘻 3) 経鼻胃管の挿入 4) 経管栄養の注入方法			講義 (校内実習)				
6	快く排泄するとは	1) 排泄の意義 2) 自立した排泄行動 3) 排泄に支障をきたすことによる心身の変化 4) 入院に伴う排泄への影響			講義	本校教員			
7	排泄援助のアセスメント	1) 排泄行動に影響を与える因子 2) 排泄援助の必要性を判断する視点			講義				
8									
9	排泄援助の選択と方法	1) トイレ介助 2) ポータブルトイレ 3) 床上排泄（尿器・便器）			講義				
10	排尿・排便困難時の援助	1) 一時的導尿の適応と方法 (女性・男性の一時的導尿) 2) 持続的導尿の適応と方法			講義				
11	排尿困難時の援助	1) 導尿の方法と実際 ・デモンストレーション ・女性の導尿の実際			校内実習				
12	排尿困難時の援助	1) 導尿の方法と実際 ・女性の導尿の実際			校内実習				
13	自然排泄を促す	対象に応じた排泄援助のアセスメント 1) 腸蠕動音の聴取 2) 腹部マッサージ 3) 温電法			校内実習				
14	排便困難時の援助	1) 浣腸の方法と実際 ・デモンストレーション ・浣腸の実際			校内実習				
15	定期試験(90分)								

授業科目	内部環境調整技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	開講	通年	通年
科目目標	皮膚・粘膜・呼吸の状態を整え、恒常性を維持するために必要な基本的な技術を習得する。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	浮腫・脱水 酸塩基平衡	体液の恒常性 浮腫・脱水のアセスメントと援助 アンドーシス・アルカローシス				講義	本校教員				
2											
3	呼吸状態の アセスメント	正常な呼吸と異常呼吸 呼吸困難の分類・原因・誘因				講義					
4	呼吸を楽にするための援助	酸素療法 吸引 体位ドレナージ				講義 校内実習					
5											
6	身体を清潔にする意義	身体を清潔にする意義 皮膚・粘膜の生理機能				講義					
7	口腔内の清潔	臥床患者の歯磨き方法 臥床患者の含嗽				講義 校内実習					
8	部分浴	手浴 足浴 温湯の効果とバイタルサインの変動				講義 校内実習					
9	洗髪	ケリーパッドを用いた洗髪				講義 校内実習					
10	全身清拭	気持ちよくきれいになる全身清拭 臥床患者の寝衣交換（和式寝衣）				講義 校内実習					
11											
12											
13	陰部洗浄	臥床患者の陰部洗浄				講義 校内実習					
14	定期試験(90分)						本校教員				
15	実技試験	全身清拭・寝衣交換					本校教員				

授業科目	診療補助技術 I	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30	開講	後期
科目目標	感染予防と検査に伴う基本技術を習得する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	医療における安全	医療事故を考える リスクマネジメント 患者の安全と看護師の責任			講義	本校教員			
2	感染の概念	感染と感染症 感染経路 感染防御機能			講義				
3	感染防御	スタンダードプリコーション 感染経路別予防策			講義				
4	感染防御技術	衛生的な手洗い スタンダードプリコーションの実施			講義 校内実習				
5	無菌操作	清潔と不潔 消毒と滅菌 無菌操作			講義 校内実習				
6									
7	検査の意義	検査の意義 診察・検査を受ける患者の心理 検査における看護師の役割			講義				
8	検査の種類	検査の種類			講義				
9	身体計測	身体計測の意義・目的 身体計測の留意点 身体計測の実際			講義 校内実習				
10	検体検査	検体の採取方法（採尿、喀痰など） 検査値の見方、アセスメント			講義				
11	生体検査	生体検査時の援助方法（種類、方法、援助） レントゲン、エコー、心電図、脳波など			講義				
12	静脈血採血	静脈血採血の実際			講義 校内実習				
13									
14	穿刺検査	穿刺検査時の援助方法			講義 校内実習				
15	定期試験(90分)								

授業科目	診療補助技術Ⅱ	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	30	開講	後期			
科目目標	与薬に必要な基本技術を習得する。											
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）						
1	薬物療法と看護	与薬における看護師の役割 与薬方法と効果の観察			講義	本校教員						
2	内用薬の与薬	種類と特徴 与薬方法（経口、口腔内） 処方箋の取扱い			講義							
3	外用薬の与薬	種類と特徴 与薬方法（直腸内、吸入）			講義							
4	輸液・輸血の管理	種類と取扱い方法 輸液・輸血の管理方法 副作用（有害事象）の観察			講義							
5	中心静脈栄養法	適応と特徴 中心静脈栄養法施行中の管理			講義							
6	注射法の基礎知識	注射の種類と特徴			講義							
7		注射器の取り扱い 注射実施の過程 注射実施に関わる法的責任			講義							
8	安全な注射の実施	注射実施の過程 注射実施に関わる法的責任 安全な注射部位 注射実施の援助方法			講義 校内実習							
9		①皮内注射・皮下注射 ②静脈内注射 ③筋肉内注射										
10												
11	点滴静脈内注射	目的と吸収機序 適した注射部位 用いられる輸液剤と注射針の種類 輸液セットの準備 輸液速度の調整 点滴静脈内注射施行中の寝衣交換			講義 校内実習							
12												
13												
14	定期試験(90分)											
15	実技試験	注射器の取り扱い 薬物の準備 血管内への注射										

授業科目	地域生活論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	地域での暮らしや生活者を学び、あらゆる健康レベルにある人々であっても地域ですできるだけ健康的に暮らしつづけられる支援を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	人々の暮らしと地域	1) 人々の暮らしの理解 暮らしとは 暮らしと健康の関係 暮らしのなかで健康を捉える				講義 グループワーク	本校教員		
2	暮らしの基盤としての地域の理解	1) 暮らしと地域 地域の定義、人々のクラス地域の多様性 2) 暮らしと地域を理解するための考え方 システム理論、システム思考				講義 グループワーク			
3	健康について	1) 健康に対する人々のニーズ 健康の概念、予防医学の概念 2) 看護の提供方法が広がる背景 3) 人々の健康ニーズにこたえる看護 4) 健康ニーズを支える看護の実践例				講義			
4	地域における ライフステージに応じた看護	1) 住まいで提供される看護 訪問看護、家庭訪問 2) ライフステージと人々の暮らし 3) ライフステージによる健康課題と予防 4) 疾病とライフステージ 5) 家族とライフステージ				講義			
5	地域での暮らしにおけるリスクの理解	1) プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション 2) 暮らしにおけるリスク 3) 安全に暮らし続けるための援助				講義			
6	地域での暮らしの支援を考える	1) 地域実習に向けて各施設の事業を考える 半田市・常滑市社会福祉協議会 ワークセンターかじま（就労継続支援B型事業所） デイセンターおおそ（生活介護事業所） はんだっこ 子育て支援センター 板山ふれあいセンター 亀崎地域総合福祉センター				講義 グループワーク ポスターツアー			
7									
8	定期試験（60分）								

授業科目	在宅看護概論	分野	専門分野	単位数	1単位	時間数	15	開講	後期
科目目標	在宅看護の対象を理解し、在宅看護の役割を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	人々の暮らしと在宅看護	1) 地域・在宅看護の役割 地域・在宅看護の基盤となる考え方 地域・在宅看護に求められる役割 『ラスト・ドクター』			講義 動画視聴	本校教員			
2	地域・在宅看護の対象者	1) 地域包括ケアシステムと地域共生社会 地域包括ケアシステム、地域共生社会 2) 地域・在宅看護の対象者 健康レベルの多様性、地域・在宅看護の場と目的			講義 DVD視聴				
3		1) 地域による多様性 2) ライフステージによる多様性 3) 家族の理解			講義 グループワーク				
4	在宅看護における看護師の倫理	1) 看護師に求められる態度・知識・姿勢 在宅看護における倫理的課題 2) 高齢者に関する法制度 高齢者虐待防止、成年後見制度 3) 権利保障 権利擁護			講義 グループワーク 動画視聴				
5	訪問看護の制度	1) 訪問看護制度の歩み 2) 訪問看護ステーションに関する規程 介護保険法、健康保険法			講義				
6		1) 訪問看護サービスの提供 管理・運営、訪問看護利用までの流れ、費用			講義 DVD視聴				
7	社会資源	1) 社会資源 2) 多職種連携			講義 DVD視聴				
8	定期試験（60分）								

授業科目	成人看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	成人期にある人々の特徴及び健康問題を理解し、成人看護の役割を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	成人期の対象	1) ライフサイクルにおける成人期の位置づけ 2) 成人各期の区分（発達段階）と発達課題			講義	本校教員			
2	成人期にある人々の特徴	1) 成人各期の特徴と健康問題 ① 身体的特徴 ② 精神的特徴 ③ 社会的特徴 ④ 健康問題			講義 グループワーク 発表				
3									
4									
5	成人の健康問題	1) 成人を取り巻く環境 ①生活行動がもたらす健康問題とその予防 2) 成人の生活と健康破綻 ①食生活 ②喫煙 ③飲酒 ④運動不足 ⑤ ストレス ⑥ 休養・睡眠 3) 健康破綻の予防と対策			講義 演習				
6									
7									
8	成人期の主な病気と予防	1) 成人の健康の状況 ①生活習慣病の発生病過程と予防 ②健康日本21と一次予防、二次予防、三次予防 ③職業性疾病・業務上疾病 2) 保健・医療・福祉にかかわる施策の概要 3) 保健にかかわる対策			講義 グループワーク 発表				
9									
10									
11	健康問題に取り込む過程と援助	1) 心理的側面からの適応 ①疾病の社会心理的適応の段階			講義				
12	成人看護の役割	1) 成人の健康上の問題 2) 成人看護の役割 ①ヘルスプロモーションと看護 ②行動変容を促進する看護アプローチ			講義				
13									
14	成人保健・医療・福祉の動向	1) 人口静態・動態 ①生と死亡の動向 2) 健康状態と受療状況			講義				
15	定期試験（90分）								

授業科目	老年看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	老年期の特徴と保健・医療・福祉の動向と老年看護の役割を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	老年看護学とは	老年看護の対象 老年看護のなりたち 老いるということ			講義	本校教員			
2	高齢者の理解	加齢と老化 加齢に伴う身体的側面の変化 加齢に伴う心理的側面の変化 加齢に伴う社会的側面の変化 老年期の発達課題 老年期のスピリチュアリティ 高齢者が生きてきた時代背景			講義 グループワーク				
3									
4									
5									
6									
7	高齢者を取り巻く 保健・医療・福祉	保健医療福祉の動向 高齢者の権利擁護			講義 DVD視聴 演習				
8									
9									
10		日本における認知症対策の動向 認知症患者の推移 認知症に対する我が国の取り組み			講義	非常勤講師			
11	エンドオブライフ ケア	エンドオブライフケアの概念 意志決定への支援			講義 DVD視聴	本校教員			
12									
13	高齢者と家族	超高齢社会の統計的輪郭 家族の健康と生活 家族への援助			講義				
14									
15	定期試験（90分）					本校教員 非常勤講師			

授業科目	小児看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	通年
科目目標	小児各期の成長・発達の特徴を理解し、小児看護の果たす役割を理解する。								
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）		
1	小児看護学とは	小児看護の特徴 小児看護の対象とは 小児看護の変遷 小児看護における倫理				講義	本校教員		
2	子どもと家族を取り巻く社会環境	家族の特徴とアセスメント、子どもと家族を取り巻く社会				講義			
3	小児保健	小児と家族の諸統計				講義・演習			
4	子どもの成長・発達	成長発達				講義			
5	子どもの成長発達とその関わり	子どもの栄養				講義	非常勤講師		
6		新生児・乳児との関わりと看護				グループワーク			
7						発表			
8		幼児との関わりと看護				グループワーク			
9						発表			
10		学童との関わりと看護				グループワーク			
11						発表			
12		思春期・青春期の子どもとの関わりと看護				グループワーク			
13						発表			
14	子どもをとりまく療養環境	入院を必要とする子どもの療養環境、他職種連携による療養環境づくり（HP S の取り組みを含む）				講義	非常勤講師		
15	定期試験（90分）					筆記試験	本校教員 非常勤講師		

授業科目	母性看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期			
科目目標	人間の生涯に関わる母性の概念と特徴を学び、ライフサイクル各時期における母性の健康維持、増進のための看護の役割を理解する。											
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）					
1	母性の概念、父性の概念	授業の進め方と各科目との関連 母性の概念と父性の概念				講義	本校教員					
2	女性のライフサイクルと母性の発達・成熟・継承	1. 女性のライフサイクル 2. 女性のライフサイクルにおける母性の発達と成熟・継承				講義						
3	性と生殖—人間にとっての性の意義と特徴性と受胎調節	1. 生殖とは 2. 人間の性の特徴 3. 受胎調節の意味と方法				講義						
4	女性のセクシュアリティの発達と課題	1. セクシュアリティの概念、発達と課題 2. 性的マイノリティ、ジェンダー				講義						
5	リプロダクティブヘルス/ライツと女性の意決定を支える看護	1. リプロダクティブヘルス/ライツのめざすもの 2. リプロダクティブヘルス/ライツをめぐる課題 3. 女性の自己決定権とヘルスプロモーション				講義						
6	女性のライフサイクルと家族との関係	1. 母性看護の理念 2. 女性のライフサイクルと家族との関係 3. 家族の発達段階と家族看護				講義						
7	母性看護の変遷と現状課題 母性保護と関係法規	1. 母性保護のための関係法規 2. 高度生殖医療 3. 出生前診断、人工妊娠中絶				講義						
8	母性看護における統計・倫理問題	母子保健統計に見る動向と現状の課題 母性看護における倫理的問題				講義						
9	思春期・成熟期・更年期女性の特徴と健康問題	思春期・成熟期・更年期・老年期女性の身体的・心理社会的特徴と健康問題				講義						
10	思春期・成熟期・更年期・老年期女性の健康問題と看護	1. 思春期の健康問題と看護 2. 成熟期の健康問題と看護 3. 更年期の健康問題と看護 4. 老年期の健康問題と看護				グループワーク 発表						
11												
12												
13	地域における助産師活動の実際	1. 子育て・健康支援 2. 多職種との連携 3. 行政機関との連携 4. 医療機関との連携				講義				非常勤講師		
14												
15	定期試験（90分）									本校教員 非常勤講師		

授業科目	精神看護学概論	分野	専門分野	単位数	1	時間数	30	開講	後期
科目目標	こころのありようやこころの健康を阻害する社会生活の中の要因を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	精神看護学で学ぶこと	精神科医療の現状			講義	非常勤講師			
2		精神看護学の基本的な考え方			講義				
3	精神保健の考え方	精神の健康とは			講義、視覚教材				
4		精神障害のとらえ方			講義、視覚教材				
5		ストレスと健康の危機			講義				
6		心的外傷が精神の健康に及ぼす影響、レジリエンス、リカバリー			講義				
7	人間の心のはたらきとパーソナリティ	人間の心の諸活動			講義				
8		学習と行動 心のしくみと人格の発達			講義				
9		精神分析、心の構造			講義				
10		防衛機制、自我の発達段階			講義				
11		エゴグラム			講義、演習				
12	社会のなかの精神障害	精神障害と治療の歴史			講義				
13		精神障害と法制度			講義、視覚教材				
14					講義、視覚教材				
15	定期試験（90分）				筆記試験				

授業科目	地域実習	分野	専門分野	単位数	1	時間数	45	開講	後期
目的	看護の対象を生活している人としてとらえ、地域とそこで生活する人を理解する。								
目標	1. 地域で生活する人の「生活」について知ることができる。								
	2. 生活する人と地域とのつながりを知ることができる。								
	3. 地域で生活する人の健康に対する意識とその取り組みについて知ることができる。								
	4. 地域の産業や文化について知ることができる。								
	5. 地域で生活する人とのコミュニケーションを体験し、自己のコミュニケーションの課題								

授業科目	基礎看護学実習 I	分野	専門分野 I	単位数	1	時間数	45	開講	後期
目的	<p>看護の対象である入院患者とその療養生活及び臨床における看護活動を知る。</p> <p>患者に必要な日常生活援助が、体験を通して理解できる。</p>								
目標	1. 入院患者がどのような環境で生活しているかを知る。								
	2. 患者の気持ちを知ることができる。								
	3. 臨床における看護活動の実際を知ることができる。								
	4. 患者に必要な日常生活援助が理解できる。								
	5. 患者の状態を考慮し、必要な日常生活援助が体験できる。								